

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2017No.63】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：J.S.バッハ

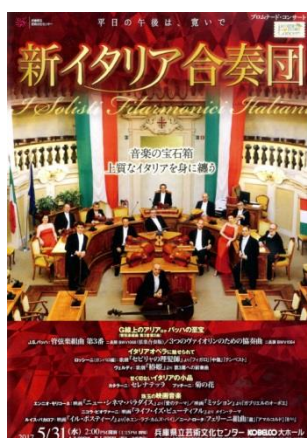
曲名：2つのヴァイオリンのための協奏曲 BWV 1043 他

演奏：新イタリア合奏団

発売：MEISTER MUSIC

No.：MM-3043

概要：



本 CD は[新イタリア合奏団の演奏会](#)に行行って買い求めたものです。

収録曲

J.S. バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲 BWV 1043

J.S. バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV 1041

J.S. バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調 BWV 1042

J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第5番 ニ長調 BWV 1050

ネット上の解説を下記に引用して示します。

「バッハの作品中でも弦楽アンサンブルの妙味が際立つ二重協奏曲を含むコンチェルト3曲に、ブランデンブルク5番が加わった、恐ろしくも、申し分無いプログラム。掛け合い見事な独奏ヴァイオリン、テオルポが加わった奥行き深い通奏低音、そして、ロレージアン(国際的チェンバロ奏者)の超絶ソロが披露されるブランデンブルクと聴きどころ満載です。

新イタリア合奏団は1970年代に一世を風靡した「ローマ合奏団」の流れを汲み、イ・ムジチと並ぶバロック音楽のエキスパートとして知られた「イタリア合奏団」が前身の老舗合奏団。イタリア・ヴァイオリン界を代表する名手、フェデリコ・グリエルモを筆

頭に、伊音楽界を名実共に支える重鎮が揃った、スーパー・アンサンブルです。黄金の弦の響き、流れる様なアンサンブルは、まさに至福の時を与えてくれます。」

演奏会で聴いた新イタリア合奏団のバッハは明るく爽やかで、ソロを務めるフェデリコ・グリエルモのヴァイオリンは透明度があって切れ味の良い演奏でした。

この CD でもそういった演奏会に雰囲気十分に再現されているとは言えませんが、その片鱗は伺い知ることができます。さらにチェンバロの音色も控えめながら、しっとりと透明感のある音で、メンバー全員の技量も卓越していることが分かります。

以上